

寺報

令和元年十一月
第八十四号

正念寺護持会発行

常陸太田市久米町二一―一

電話 〇二九四―七六一二〇五八

FAX 〇二九四―七六一〇一六九

台風十九号の被害を見て

十月六日にマリアナ沖で発生した台風十九号は、同月十二日に伊豆半島付近に上陸して、長野県や関東各県に大きな被害をもたらしました。

ここ茨城県でも久慈川や那珂川が決壊して大変な洪水をもたらしました。

正念寺のご門徒も洪水の被害に遭ったご家庭もあり、十一月三日現在も避難生活を余儀なくされております。

その為、報恩講の案内にそのことが書いてないとお世話の方から指摘も受けたことではございますが、再印刷をかけると十日ほど案内状の配布が遅れることもあり、そのままの案内状の配布をお願いしたことでございます。そのことでお叱りを受けるのであれば、真摯に反省させて戴きたく存じます。

さて、今回の久慈川決壊の被害ですが、正念寺のご門徒の方々の被害は、新地町・松栄町・花房町に及びました。現在把握しているところでは、床下浸水が六軒、床上浸水が五十六軒になります。副住職が時間がある時にボランティアで入っておりますが、話を聞くに連れ、被害の大きさに驚愕するばかりです。先の東日本大震災で



県道62号線から新地町方面



県道62号線から新地町・松栄町方面

やられた家をやつと再建したところへの今回の洪水、というご家庭もあると聞きました。

私たちは、この様な災害に遭った時、どうすれば良いのか？また何が出来るのか？災害の多い日本列島に住んでいる私たちがだからこそ普段から考えておくことが必要なのかも知れません。

前三時半位と聞いていますが、久慈川の堤防が出来ていない部分から越水して周りの堤防を崩して大きな洪水になったと聞かされました。

今回の被害では、ご門徒の中からお亡くなりになった方は幸いなことにいらっしゃるかもしれません。しかし、他のところでは残念ながらお亡くなりになった方もいらっしゃる。命は失えば二度と戻らないという事を改めて肝に銘じたいことでございます。

現在、正念寺で避難する方を受け入れるとすると、本堂と庫裏を使っても二十人程度だと思えます。その人数であれば、数日間なら命を紡ぐことの出来る最小限のパンの備蓄をしております。個人で出来るのかとは限られているとは思いますが、今後とも何が出来るのかを皆さんの知恵をお借りしながら一緒に考えていきたいと思います。



県道61号線から松栄町方面

参れ〜寺カード十ポイント達成報告

参れ〜寺カード

の十ポイント達成者が誕生しました。

八月の歓喜会法要時点で達成された方がお二人。井坂ヨシエ様と箕川八重子様です。その後、十月の聞法会の折りに達成された方が小菌俊秀様です。正念寺の法要や行事、聞法会への参加や、奉仕作業や各地で行われているお取り越し等でポイントが貯まります。是非、沢山の方に記念品をお渡ししていただけることを期待しております。



お寺でライブ？ 第四回

今回の「お寺でライブ？」は、花祭りコンサートを四月五日(日)に正念寺本堂において行う予定です。花祭りコンサートとしては二回目になりますが、コンサート自体は三回目になります。毎回満堂になっており、主催している側としては嬉しい限りです。次回のコンサートもどうぞ楽しみにしてお待ち下さい。

寺院巡り旅行のご案内

来年の寺院巡りは、お釈迦様のお骨(仏舍利と言います)をミャンマーの寺院から送られた「仏照寺」様にお参りさせて頂く予定です。

まだ旅行社との打合せもしておりませんので、今後変更もあるかと思いますが、仏照寺様の他数ヶ寺参拝しながら、温泉で身体を休めつつ楽しい旅行にしたいと存じます。

日程 六月二十三日(火)〜二十四日(水)
参加費 三万円程度
募集人員 二十名

グラウンドゴルフ正念寺杯 第三回案内

来年も「グラウンドゴルフ 正念寺杯」を行います。今年も、沢山の方々のご参加をお待ちしております。

日時 三月十三日(金曜) 午前九時 正念寺集合
場所 大方運動広場
参加費 一千元

募集締切は、二月一杯

終わった後に、みんなで食事をして解散します。



絵手紙紹介

常陸太田市大方町の井坂 順子様
の素敵な絵手紙を三点ほど紹介
させていただきます。



これからの行事予定

今後の正念寺の行事をご連絡いたします。

十二月三十一日(火) 除夜会(二十三時三十より)

令和二年

一月 一日(水) 修正会(除夜絵に引き続き、0時より)

一月 七日(火) お世話人様・総代様新年会

一月 八日(水) 聞法会新年会

三月 八日(日) 永代経法要

三月十三日(金) グラウンドゴルフ

なお、毎月八日は聞法会を行っておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。



感謝録

ご寄付を戴きました事に感謝を込めてご報告させていただきます。

一、妻の永代経として

金 壹拾五万円

荻津 軍司様

今年も沢山のお仏供米をご奉納戴きました。ここに謹んでご報告させていただきます。

十一月五日現在

常陸太田市

井坂 孝一様

井坂 哲也様

井坂 照雄様

井坂 友之様

井坂 豊子様

小菌 篤様

小菌 達雄様

小菌 浩文様

小菌 光晴様

関 守様

仲村 義信様

那珂市

會澤 宏様

浅川 泉様

檜村 一洋様

常陸大宮市

坪井 誠様

檜村 豊様

片岡 稔重様

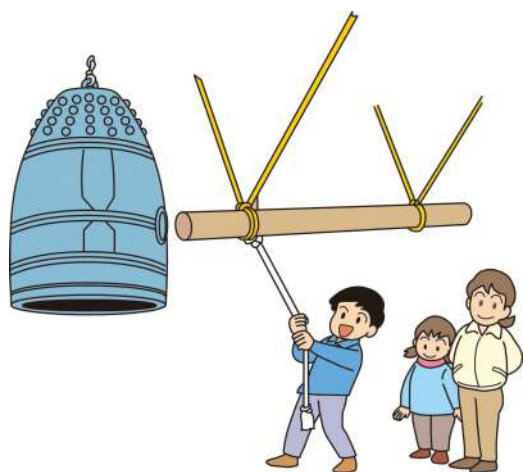
小澤 喜一様

萩野谷 定之様

箕川 峻様

ご奉納戴きましたお仏供米は大切にに使わせて頂きます。

その他、報恩講法要や永代経法要に際し、また平日頃から農業をされている方々から、いろいろな野菜などのご奉納も戴いております。ここに報告と感謝を申し上げます。



住職雑感

台風十九号の被害は、新地町・松栄町・花房町に大きな被害をもたらしました。私が地元に戻ってから四十年近くが経ちますが、東日本大震災も含め河川からの洪水被害など、何度かの大きな災害を経験しました。

地球温暖化の影響などもあり、これからもこういった災害から逃れることは出来ないのかも知れません。

かといって、グレタさんの言うような極端な夢物語に賛同する気持ちも正直起りません。彼女は確かにスウェーデンからアメリカまでヨットで行きました。しかし、ヨットの船長やクルーは、飛行機で母国に帰っておりません。彼女がヨットで母国に帰るには、船長やクルーにまた飛行機でアメリカまで来てもらわなくてはなりません。この矛盾は、若者にありがちな正義感だけが先走りして現実が見えていないだけなのかも知れません。

夢を語ることは大事なことだと思います。こういうことが出来たら、と言う夢があつて様々なものが発達、実現してきたと言えるでしょう。しかし、その夢は一足飛びに出来るものでもありません。夢に向かって一つ一つ課題をクリアして、初めて夢が現実になるのではないのでしょうか。その時広がる未来に思いを馳せることは大事だと思いますが。